

## オーディオ評論家 麻倉怜士さんのご自宅に Audyssey MultEQ をインストール

オーディオ評論家 麻倉怜士さんのご自宅視聴ルームに Audyssey のカスタムインストールプログラム MultEQ Pro を使い、MultEQ をインストール致しました。現在視聴ルームでご使用中の JBL の K2 S9500 を中心に組まれたシステムと MultEQ 専用プロセッサー Sound EQ と Sub EQ (共に日本未発売) とを組み合わせ、視聴ルームの音響特性をチューニング。

音響チューニング後にインタビュー形式で麻倉怜士さんにコメントを頂きました。

### Q.チューニング後の率直なご感想は？

まったく音場補正をしていない場合に比べ、非常に「映画的表現力」が向上したと聴きました。部屋に単にスピーカーを設置しただけの問題として、定在波、ピークやディップの存在など音場的な問題が必ずあります。MultEQ は、それらの影響を最小限にすることだけではなく、新たな価値を加えたように聴きました。それは、「ハリウッドの音」とでも形容できる、非常に緻密で臨場感に溢れた音でした。正確さというより、華麗に演出された映画音が聴ける楽しみです。これはやはりシネマサウンドのメッカの南カリフォルニア大学にて、ハリウッドのトーンマイスター達との共同作業の経緯が伺えますね。

### Q.具体的にはどのような違いがありましたでしょうか？

ダイアログや声の質に関しては明瞭度が増したというのは当然のことですが、特にサウンドエフェクトの部分ではそれぞれのシーンに合った音の輝きやエモーションをリッチに再現されていると感じました。例えばミュージカル映画では感情をかきたたられ、映画を更に楽しませてくれますね。

### Q.どのあたりに Audyssey の良さを感じられましたか？

AV アンプに入っている一般的な音場補正技術ではマイナス要素をゼロに近付けるようなものですが、Audyssey はゼロを超えてプラス、つまり「ハリウッドサウンド」を聴かせるのが素晴らしい。映画や音楽の制作者の意図までが聴こえてくるようです。

### Q.どのようなユーザー・システムが MultEQ オ導入すべきとお考えでしょうか？

それほど高価なスピーカーを使っていないユーザーはもちろんのこと、高価なスピーカーを使っているユーザーも、このシネマサウンドには感動するでしょう。いくら高価なスピーカーを使っても音を阻害する要因は数多くあり、何もしなければ本来スピーカーの持つ表現力の少ししか発揮出来ていないのが実情です。私も 20 年以上かけてシアター環境を整えてきましたが、JBL K2 S9500 と組み合わせるとホーンの抜けの良さや爆発感が更に増し、音場の中にスピーカーが溶け込むようなシネマ的な(つまりコンテンツ指向の)、濃密な音空間を得ることが出来ましたね。

**“インストール時の様子”****【Audyssey マイクによる測定】****【試聴テスト及びチューニング】****【Audyssey Sound EQ / Sub EQ】**

麻倉 怜士さん

オーディオ・ビデオに造詣が深く、代表著書に「ホームシアターの作法」(ソフトバンク新書)、「素晴らしき3Dの世界」(アスキー新書)、「パナソニックの3D大戦略」(日経 BP 社)など。最新著書としてアスキー新書から「高音質保証！麻倉式PCオーディオ」を8月に出版。

情報請求先:  
Audyssey Laboratories Japan  
info@audyssey.jp